

100メートルは人間力

朝原宣治さんの講演

(拝島第一小学校)

11月27日に、東京都のスポーツ教育推進校の指定を受け、体力向上に向けた取り組みを行っている拝島第一小学校に、北京オリンピック陸上競技400mリレー銅メダリストの朝原宣治選手をお招きしました。

まず最初に校庭を利用して、朝原さんから速く走るためのポイントを教えてくださいました。

その後、教員と朝原さんが一緒に走る場面に加え、子どもたちのリクエストにより、両側に児童が並び、列の間を朝原さんに走っていただきました。朝原さん

の走る姿は、「上半身を高く保つ」「はずむように走る」などはつきりとしており、大変参考になりました。



体育館では講演会が行われ、5・6年生と保護者や地域の方が参加しました。

メダルを獲得するまでに、オリンピック出場4回、世界選手

だいたり、ビデオ映像の「拝島三小の一年間の歩み」を鑑賞したりして当時を懐かしみました。

開校50周年

拝島第三小学校

12月1日の式典では、50年間の歩みを思い起こさせる貴重な映像と、在校生代表の4年生から6年生による「ふるさと」「O MOIYARIの歌」等の心に響く合唱、力強さと優しさを感じさせる「栄光の架橋」の合奏で祝いました。

祝賀会では、歴代の校長先生や地域の方に思い出を語っていた



権出場6回という経験の中で、一生懸命練習したことや、様々な方との出会いがあったことなど貴重な話を伺いました。

「好きなことがあるのは素晴らしいことです。何か夢中になれるものに精一杯取り組んでください。自分の可能性を信じて。あなたたちには、無限の可能性がります。」という温かい言葉は、児童や参加していた保護者・地域の方に届いたことでしょう。



「やさしく つよく かしく」を教育目標とし、人権尊重の精神を基調に、児童一人ひとりが人とのかわりを通して自己共に認め、高め合いながら成長していくことのできる学校づくりを進めています。都言語能力向上推進校として言語活動の充実に努め、保護者や地域の方々の協力を得ながら、週三回の朝読書や気持ちのよい挨拶、温かい言葉遣いに、みんなで取り組んでいる学校です。

食育シンポジウム

子どもたちの元気な発表がありました！

1月29日に、市役所市民ホールで、食育シンポジウムが開催され、市民の方や学校関係者など、約110人が参加しました。

今回で4回目を迎え、テーマは「食育と地域の関わり」とし、第一部では学校で取り組まれている食育の実践について小学校2校から報告がありました。

つつじが丘南小学校では、6年生が地域の特産品を使った料理を作り上げる活動をしていきます。昭島の農業や食文化を知り、食を支える生産者等への感謝の気持ちを持ち、郷土愛を育むことを目標としています。実際に商品化を目指した「昭島名物料理を考えよう」という取り組みについて、同校栄養士から報告がありました。

田中小学校では昨年度米作りを体験した6年生が、市内農家の女性を中心に活動している工房「旬」での蓬もち作りと農家に関する取材を行いました。この取材による体験・学習の、子どもたちからの発表には会場の参加者が真剣に聞き入っていました。

第二部では、食育と地域の関わりについてパネルディスカッションが行われ、パネラーの高野さん(田中小校長)から、学校での食育の取り組みや子どもたちが体験することの重要性などを説いていただきました。

また、工房「旬」の伊藤さん、大貫さんからは、子どもたちに伝えたい地域の文化や伝統、協力いただいている食育への思いを、つつじが丘南小学校・鈴木栄養士からは学校給食と食育との関わりについての話がありました。



〈田中小 6年生代表の皆さん〉

コーディネーターの佐々木さん(日本獣医生命科学大学教授)からは、子どもたちが実際に体験し、感じたこと学習したこと、そしてその発表内容の素晴らしさ、また堂々と元気よく発表する子どもたちの姿勢に称賛の言葉をいただきました。